



平成25年度 城山地区地域活性化事業交付金 交付決定事業実績

平成26年3月31日現在

事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
1 コミュニティ活性化モデル事業	原宿自治会	自治会が主体となって、高齢者の健康づくり、生きがいづくり、憩いの場づくりを実現することにより、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とする。	シニアサロンの開催 月1回(毎月第一日曜日) 内容 午前:歌のつどい 午後:俳句、酒まんじゅう作り、クリスマスコンサート、落語会	高齢を理由に自治会を脱会する会員が増える中、「年を取ってからこそ自治会」を目指してサロンを開催したところ、平均40人(最大80名)の参加があった。 特に、140名ものシニア世代の登録があり、また、俳句、絵画、カラオケの教室や会が発足するまでになった。	自治会がきめ細かな福祉の担い手となる時代がきている中、高齢者の生きがいや学習意欲に応える取り組みができたと評価している。	H25.6.3	650,000
2 新しい地域コミュニティ構築事業	特定非営利活動法人 城山スポーツ&カルチャークラブめいぶる	スポーツや文化活動などを通じて、地域住民やサークル・クラブのネットワーク化や情報発信・情報共有の場を提供することによって、地域住民主導型のコミュニティの構築に貢献することを目的とする。	親子サッカー教室 9/14(土)・10/12(土) 参加者3名 ヒップホップダンス教室 11月~1月(6回) 参加者延べ68名 ダンス&体操発表会 1/26(日) 参加者120名超 ファミリーフェスタ 3/22(土) 参加者41名(サッカー・ヒップホップ・スポーツ吹矢・ウォーキング・ヨーガ・オリジナルエクササイズの教室)	スポーツや文化活動を通じて、新たな地域コミュニティづくりに貢献することができた。 急ぎ実施したファミリーフェスタでは、子どもたちの特性を把握して企画したところ、派手さはなく手づくり感の高いイベントとはなったが、予想に近い数の参加を得ることができた。	参加者の反応から、「地域社会の中に新しいコミュニティを構築する」という目的について、地域住民の間で共感が得られてきていることを感じられたこと、また、多くの方に地域で交流していただくためのポイントをつかむことができた点は、大きな成果であったと評価している。 今後はそのポイントを強化しながら、新たな地域コミュニティづくりを継続的に進めていきたい。	H25.6.3	400,000
3 城山ハッピー・ティーン・フェスタ事業	城山ハッピー・ティーン・フェスタ2013実行委員会	学生自らが自主的に企画・運営に取り組む地域交流イベントを実施し、地域をPRするとともに、青少年が日ごろの練習の成果を発表する場を設け、青少年の健全育成、地域活動の担い手の育成、世代を超えた新たな地域コミュニティの構築を図ることを目的とする。	開催日:7月27日(土) 会場:もみじホール城山 内容:城山高等学校と城山地区自治会連合会の協働により、同校の軽音楽部、放送部、ダンス部、書道部、演劇部の生徒が、日ごろの練習の成果を発表し、世代を超えた新たな地域コミュニティづくりを行った。 来場者:1,200名	学生自らが実行委員会に参加し、自主的に企画・運営に取り組んだことで、青少年の健全育成、また、次世代を担う若者との交流を深めることができた。 城山高等学校と城山地区自治会連合会との協働により事業を行ったことで、自治会活動への理解が深まった。	このイベントを通じて、青少年の健全育成や地域活動の担い手の育成に加え、世代を超えた新たな地域コミュニティづくりや住み良いまちづくりに寄与できたことは大きな成果であったと評価している。 今後も次世代を担う若者との交流を深めながら、新たな地域コミュニティづくりに取り組んでいきたい。	H25.6.3	350,000
4 地域住民のコミュニティ推進活動事業	つくいレクリエーションクラブ	レクリエーション活動を通して、子どもから高齢者まで幅広い世代のコミュニケーションの場づくり、生きがいづくりを提供することを目的とする。	チャレンジ・ザ・ゲーム資格取得講習会 5/11(土) レクリエーションゲーム 7/28(日) ネイチャーゲーム・ラダーゲッター講習会 7/28(日) チャレンジ・ザ・ゲーム 9/21(土)・10/20(日)・11/23(土) ノルディックウォーキング(5月~3月)	ノルディックウォーキング(専用のポールを使用して歩くスポーツ)では、自然を楽しみながら城山近郊を歩き、参加者同士の交流と健康増進に繋がった。 また、「ネイチャーゲーム」「ラダーゲッター」という、大人も子どもも楽しめるニュースポーツの普及にも努めた。 こうしたニュースポーツやレクリエーションを通じて、楽しく元気なコミュニティづくりを実践することができた。	今年度実施した事業には延べ357名の参加があり、地域住民のコミュニティの推進と地域の活性化に寄与することができた点を評価している。 子どもから大人まで、誰でも気軽に楽しめるスポーツとしてさらなる普及をめざし、活動の発展につなげていきたい。	H25.6.7	30,000

	事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
			事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
5	地域の歴史発掘・共有継承事業	城山地域史研究会	歴史講話「津久井の歴史こぼれ話を語る会」を毎月開催し、学校教育や市民の生涯学習及び新たなコミュニティの場を提供するとともに、講話記録集「春林文化 津久井の歴史と風土」の刊行事業により、地域の歴史や文化・伝統を後世へ継承することを目的とする。	平成25年1月から12月まで、12回の歴史講座「津久井の歴史こぼれ話を語る会」を開催した。また、その講演内容を講話記録集「春林文化9号津久井の歴史と風土」にまとめ刊行し、市内小中学校、公民館、図書館に配架した。	刊行した「春林文化9号津久井の歴史と風土」は、市内の小中学校・公民館・図書館に配架して、広く市民の皆さんに地域の歴史・文化・風土・伝統を承継することができた。 歴史講座「津久井の歴史こぼれ話を語る会」の開催及び「春林文化9号津久井の歴史と風土」の刊行を通じて、相模原市の歴史・文化・伝統の承継に寄与するとともに、エコミュージアムの推進や公民館活動の活性化にも寄与した。	歴史講座「津久井の歴史こぼれ話を語る会」も今年3月で183回を迎え、また、講話記録集「春林文化」も連続7回発刊することができた。歴史講座では、多くの熱心な受講者に支えられ、地元の古老、地域郷土史研究者、さらには有名大学の教授の皆さんにも快く講師を引き受けていただけると成長した。記録を書籍として残すことの重要性を強く感じており、今後も活動を継続しながら公共的な活動の担い手も育成していきたい。	H25.6.26	450,000
6	葉山島地域活性化事業	湘南みらい実行委員会	地域の活性化には、次世代の担い手の人材育成や、地域内で活動している自治会、育成会、老人会がより一層連携を深めることが必要であるという視点から、「地域活性化」をキーワードに地域住民が一体となり「秋の収穫祭」を開催し、多くの観光客を呼び込むことで、地域全体の目的である葉山島の振興と活性化を図ることを目的とする。	実施日:10月13日(日) 内容:落花生の収穫体験、地元野菜・加工食品の直売、模擬店、地域の観光案内、その他のイベントコーナー 広報:タウンニュース緑区・中央区版 来場者数:約800名	地元農産物生産者が販売した新鮮な地場野菜は参加者から大変好評で、余剰であった野菜の売り上げ向上に結びついた。一方、生産者もイベントでの販路拡大が図れたことから、休耕地の活用にも積極的になり、休耕地の解消に繋がるとともに、農商工連携への糸口となった。また、地域内で活動している自治会、育成会、老人会が積極的にイベントに参加したことにより、葉山島地域一帯の連携をより一層深めることができた。	秋の収穫祭は、年を重ねる毎に認知度が高まり、葉山島の秋の風物詩として定着するとともに、地域の活性化が図られたことは大きな成果であったと評価している。今後も引き続き、各種団体とタイアップし、葉山島周辺の団体との広域的な連携により一層事業を推進していきたい。 また、城山観光協会や城山商工会とも引き続き協力関係を継続し、共に協力し合いながら地域一帯の活性化を図るとともに、開通した圏央道も視野に入れた活動を行っていきたい。	H25.8.2	66,000
7	つくいり合同事業	つくいり実行委員会	「つくいり」を開催し、地域住民の絆を深め、地域愛を育むとともに、地域内外の人々に城山を知ってもらい、地域の観光振興と商工業の活性化を図ることを目的とする。	開催日:11月24日(日) 時間:10:00~18:00 会場:県立津久井湖城山公園水の苑地 来場者数:10,000人 内容:職業体験の実施、特産品の展示販売、飲食の提供(15店舗)、冬の大花火大会(3,000発)、高校生等によるステージイベント(10団体) 広報:タウンニュース、ポスター、チラシ配布、エフエムさがみ	職業体験では、来場者が建設重機操作やパンク修理、木工製造体験などを体験したことで、仕事の大切さや重要性、面白さなどを感じるきっかけの一つになった。 また、城山の特産品の展示販売や飲食では、多くの来場者から好評をいただき、城山の特産品や飲食店の認知度の向上に結びついた。 さらに、旧津久井郡の青年5団体(城山、津久井、相模湖、藤野青年部、津久井青年会議所)の絆や団結力が一層高まった。	今回も多くの来場者に恵まれ、本事業の認知度が高まっていることが見受けられたことは一つの成果であったと評価している。 2回目の開催となった職業体験は、将来の地元企業者を育てるという大変意義のある事業であり、来年度以降も引き続き青年5団体で連携しながら実施していきたい。 今後も関係団体・機関との協力関係を継続し、地域の観光振興や商工業の活性化を図っていきたい。	H25.9.13	250,000
8	小松川環境保護と保全維持事業	小松川を守る会	小松川環境整備作業エリアの拡大による環境整備の強化、ボランティア活動の担い手の発掘と育成、水棲動植物の保護及び保全を目的とする。	小松川流域660メートルの草刈事業 小松川を守る会キャンペーン事業 実施日:11月10日(日)・11日(月) 内容:小松川の流域に「小松川を守る会」のキャンペーンのぼり旗20本を15日間設置した。	自治会及び小松川を守る会会員に案内を配布し参加の促進を図った。 自治会だより(会報)に内容を掲載し、広く地域内から参加者を募った。 活動を通じて、環境整備・安全の促進が図られ、また、参加者同士のふれあいが深まった。	小松川を守る会キャンペーンを通じて、観光客や散歩の人などが関心を持って川面を覗いている場面を見ることができ、地域住民が活動に興味を持つとともに、事業目的への理解が深まったことは大きな成果であったと評価している。 草刈後の小松川流域660メートルの景観を見て充実感と達成感を得るとともに、水棲動植物、昆虫、鳥、魚などの命をつなぐためには、清流の保全が大切であることを再認識することができた。	H25.9.26	221,000

	事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
			事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
9	自治会加入促進事業	城山地区自治会連合会	地域コミュニティの基盤である自治会の活動を積極的にPRし、自治会の加入者増加と活動の活性化を図る。特に自治会の防災活動をPRし、「共助」の意識を高め、地域防災力の強化を図ることを目的とする。	自治会PRのぼり旗を作成し、自治会館等に掲出した。 自治会加入促進事業として啓発物品の配布を行った。 福祉のつとめ:11月3日(日) 鎮守の森手づくり市:11月3日(日) 城山地区敬老事業:11月16日(土) 啓発物品:LEDライト、防災IDホイッスル	もみじまつり会場で自治会活動をPRする予定であったが、雨でもみじまつりでのPRを中止したため、急遽会場を変更して実施した。変更した会場でも来場者は多く、大勢の方に自治会活動をPRすることができた。また、敬老事業の会場では、高齢者の自治会脱会防止のためのPRをすることもできた。	各自治会長が、自治会加入率の低下が喫緊の課題であるという共通認識を持つことができ、会議等の場で情報交換ができたことは一定の成果であったと評価している。この事業もまだ2年目であり、目に見えた効果はなかなか実感できないが、継続して取り組んでいくことが大切であり、今後も地道に取り組みを進めていきたい。	H25.9.26	114,000
10	城山湖・高尾山散策路 周辺環境整備事業	城山地区まちづくり会議 観光部会	城山地区の新たな魅力を創出するとともに、城山地区の認知度の向上を図ることで、高尾山等の地区外からの観光客の誘客を図り、城山地区の活性化に繋げることを目的とする。	案内板の設置 高尾山周辺散策路の分岐路4ヶ所に城山湖方面への案内板を設置した。 景観伐採の実施 風光明媚な景観を味わってもらえるよう、城山湖周辺の松見平休憩所とふれあい休憩所の2ヶ所の景観伐採を実施した。	事業の実施により、城山地区、特に城山湖周辺地域の魅力の創出と知名度の向上を図ることができた。	城山湖周辺地域の魅力の創出と知名度の向上を図ることができた点で一定の成果があったと評価しているが、今後、より一層の成果を上げるためには、継続した取り組みが必要である。 次年度以降は、新たに策定される城山湖周辺地域観光振興計画との連動を図りながら、地域の力を生かした観光振興に取り組んでいきたい。	H25.12.12	469,000
							3,000,000	